



子どもたちが輝いた運動会

～たくさんの方々の支えのもとに～

10月16日(日)は、第77回秋季大運動会が開催されました。天候が心配されましたが、当日は青空が広がり、秋空の中での実施となりました。子どもたちは、これまでの練習の成果を発揮し、張り切って競技や表現に臨みました。1年生から3年生までは、徒競走やリレーの他に、団技に取り組みました。今年が初めての運動会となった1年生もゴールを目指して懸命に走ったり、団技に取り組んだりしていました。



表現を行ったのは、4年生から6年生。4年生と5年生は、篠別府地区に伝わる「棒踊り」を披露しました。当日を迎えるまで、篠別府棒踊り保存会の方々は何度も何度も来校し、細部まで指導してくださいました。初めて取り組んだ4年生も、回を重ねるごとに上達していきました。その中で、「文化の伝承」として6年生が唄を受け継ぎ、保存会の方々と一緒に唄を披露しました。当日までに、6年生には唄が入ったCDを夏休み期間中に聞いて唄の感じを覚えてもらったり、本校音楽専科が、保存会の方々の歌詞を文字に起こし、練習したりするなどの積み重ねがありました。長い練習期間を経て、当日の披露へと繋がりました。



6年生による表現は、今から25年前に都農町で踊られていた「よさこいサーラン」を復活させたものでした。このサーランは、北海道の佐呂間町から伝わったものなのだそうです。しかし、長い年月がたち、徐々に踊られることがなくなっていきました。そうした、「地域の課題を解決する」という目的での挑戦が今回の披露に繋がったのです。



その提案をしてくださったのが本校学校運営協議会委員の寺原正徳さん、そして、踊りの指導

を行ってくださったのが矢野純子さんでした。踊りは南小バージョンに作り替えていただくなど、お二人のお力添えを受けて、当日の披露へと繋がりました。また、都農町文化協会や教育委員会等の大きな支えもあり、法被(はっぴ)や鳴子(なるこ)、大漁旗まで揃えていただき、華やかな雰囲気の中での披露となりました。



保護者の皆様には、前日準備、また当日の運営や片付けにもたくさん関わっていただき、ご協力いただきました。保護者の皆様に支えていただいたことにより、スムーズな準備・運営・片付けとなりました。ありがとうございました。



今回の運動会は、午前中の開催でしたが、内容を凝縮し、感動にあふれた運動会となりました。何より、子どもたちが輝き、自信に満ちあふれた姿が印象的でした。

多くの方々のご支援・ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。



主な行事予定



- 11月4日(金) シェイクアウト訓練
- 11月15日(火)・16日(水) 修学旅行(6年)
- 11月18日(金) 秋の校外学習(1~5年)
- 11月25日(金) 参観日・学校保健委員会
- 11月30日(水) 持久走記録会(雨天中止)



文責：都農南小学校 教頭 黒木賢二

